

これからイメージストを導入される先生に対し、5つの検査機能（血液塗抹検査、細胞診検査、糞便検査、皮膚検査、尿検査）のうち、どの検査から使われることをおすすめしますか？

やはり緊急性のある腫瘍の診断に有用な細胞診検査ですね。また、血液塗抹検査も同時に使われるといいと思います。



イメージストに求める機能や改善してほしい点があれば教えてください。

求めるとすれば、さらなるスピードアップでしょうか。人の大きな病院では、その病院に勤務する病理医が、切除したその場で悪性度を判断したり、摘出した腫瘍のマージンが確保できているか等をその場で判断していますよね。同様なことがイメージストで行うことができれば、さらに活用できるのではないかと思います。



イメージストを活用することで、将来的にどのような診断の幅が広がるとお考えですか？

近年様々な分野を専門とされている先生方も増え、二次診療施設と連携しつつ診断、治療を行うこともあると思います。ただ、一次診療をされている、いわゆる町医者先生が、ご自身の病院内で診断を行う際にイメージストは、サポートしてくれるツールとして重要な役割を担ってくれるでしょう。



最後に、イメージストやベトスキャンの将来的な活用計画はございますか？

先ほども申しましたように、まだまだ考察は必要でしょうが、摘出した腫瘍のマージンが確保できているかどうか、術中に分かれば素晴らしいと思います。



これからもイメージストを、日々の診療にお役立ていただけますと幸いです。本日はどうもありがとうございました。

まとめ

- ✓ 診断スピードの向上 - 細胞診結果が短時間で得られ、診療の流れが大幅にスムーズに
- ✓ 業務効率の改善 - 外注検査の手続きが不要になり、獣医師の負担軽減
- ✓ 飼い主の理解促進 - 検査結果の画像と解説によって、納得度が向上
- ✓ コスト面の納得感 - 診断・治療の迅速化により、費用対効果を実感
- ✓ 今後の期待 - AI技術のさらなる進化で、より精度の高い診断・迅速な手術判断を可能に

Vetscan IMAGYST は、今後の診療現場において、診断の質とスピードを向上させる重要なツールとして、ますます活用されていくことが期待されます。

Vetscan IMAGYST の導入とそれによる変化

2024年度の上市からご使用いただいている菅原犬猫病院院長の菅原先生に現場での使用感等をインタビュー形式でお伺いいたしました。

Dr. Akihiro Sugawara

菅原犬猫病院
院長 **菅原 旭浩** 先生

アジェンダ

- 1 導入の背景 - IMAGYST 導入の決め手と期待した効果
- 2 実際の使用状況・メリット - 使用頻度や主な活用シーン
- 3 コストと費用対効果 - 病院・飼い主双方の視点から
- 4 今後の活用と期待 - 診断の幅を広げる可能性と改善点

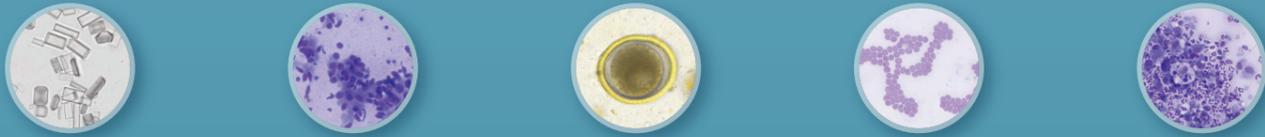
昨年2024年より、ベトスキャンイメージストをご使用いただいております菅原犬猫病院の院長、菅原先生からお話を聞かせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。まず、イメージストを導入された経緯を教えてくださいませんか？

当院は腫瘍科に力を入れていますが、腫瘍科診療において重要なことは、診断を下すことです。まずはバイオプシーなどで採材を行い、悪性の可能性の有無を調べますが、1週間程度の時間を要します。悪性の疑いがある場合にはMRIなどの画像検査にて腫瘍の浸潤程度などの精査を実施し、その検査結果に応じて手術や抗がん剤、放射線治療などの治療計画を立てます。それぞれの段階でやはり1週間程度の時間を要することを考慮すると、初診で来院されてから治療開始までに約1ヶ月間と時間がかかってしまいますが、以前からもっと早く治療を開始させたいという気持ちがありました。そうした中で、このイメージストを使用することで、検査オーダーしてから、短時間で結果が得られることを知りました。もし悪性の可能性があるとなれば、その後の検査や処置の予定調整をスムーズに行うことができ、早ければ1週間程度で治療を開始することが可能となると考え、導入に至りました。

腫瘍科診療の際にお役立ていただいているとのこと、弊社としても嬉しく思います。現在の使用頻度や実際に扱われている方を教えてくださいませんか？

平均すると1日1件程度の細胞診で使用しており、扱っているのは獣医師です。





zoetis ありがとうございます。使われてみて良いと感じる点を教えていただけますか？

先程もお伝えしました通り、最も良いと感じる点は検査結果が得られるまでのスピード感が外注検査とは比にならない、ということです。また、検査結果には文章だけでなく画像も添付されているため、ご家族の方も視覚的に理解することができ、納得していただきやすいのではないかと感じています。

zoetis 腫瘍以外の診断にも使われていますか？

血液塗抹検査にも使っていますが、正確性も信頼できていると思います。やはり血液塗抹検査においても画像が出てくるのが良いですね。

zoetis ありがとうございます。院内における作業の効率化には繋がりましたか？

外注検査を依頼する際の、申し込みや梱包の手間が省けました。また、獣医師が実際に行って慣れたのちに、他スタッフに任せることで、結果的に獣医師の負担も軽減できます。

zoetis イマジストの Web サイトにヘルプ動画を掲載しているのですが、ご覧になられたことはありますか？

はい。疑問点があっても、その動画を見ることにより大概のことが解決できます。

zoetis イマジストを使うことでご家族へ説明しやすくなった理由を教えてください。

カラーの拡大写真が添付されており、視覚的にとらえやすいです。また解説の文章も、作成したスライドから分かる情報だけを端的に述べてくれているところがいいですね。この機能のおかげで、今後の検査・治療方針について、ご家族へ説明しやすくなったと感じています。

zoetis イマジストの解説自体も先生のサポートツールとしてご利用いただいているということですね。検査結果が迅速に得られるということで、ご家族の方からどのような反応がごありますか？

やはり初診から治療開始まで、1ヶ月程度の期間を要していたものが1週間に短縮されたので、このスピード感がこれまでとは全く違うことに驚かれます。

zoetis 先生の患者さんに対する迅速な対応のサポートができていますようで何よりです。では、イマジストを使用するにあたり、コスト面はどのように考えられているのでしょうか？

もちろん新しいことを始めるにはコストもかかりますが、画像とその解説といった検査結果の充実度、診断までの時間短縮を考慮すると、高いとは全く思いません。ご家族に負担していただく費用はかかりますが、何より診断・治療までの期間を短縮できるようになった点からも、ご家族の満足度は高いです。高いと感じるか安いと感じるかは、納得させられるかどうか病院側の問題ではないでしょうか。

イマジスト導入後の改善点

利点	カテゴリ	検査	Imagyst 導入後
業務効率	診断プロセス (CT/MRI 含む)	細胞診	4 週間 → 1 週間
経済性	飼主価格	細胞診	+6,000 円
経済性	飼主価格	血液塗抹 (アドオンレビュー含む)	+7,000 円

zoetis ありがとうございます。イマジストを導入されてから院内における変化がありましたら教えてください。

当院ではまだ細胞診に用いることがほとんどですが、これからの予防シーズンに向けて、健康診断（血液検査、尿検査、糞便検査）の際に活用し、画像と共にご家族にお渡ししたいと考えています。

zoetis AI による検査や PDF で提供する検査結果など、これまでにない新しい方法での検査に対するご家族の反応を教えてください。

AI が馴染みのあるものになってきているため、抵抗を感じていらっしゃる方は少ないように思います。AI によってある一定のスクリーニングが実施できることは非常に有意義であると認識されておられるのではないのでしょうか。

zoetis 検査結果が海外の診断医からの解説の場合、日本語の文章は気になりますか？

確かに言い回しに違和感を感じることはありますが、病院として求めているのは悪性腫瘍の可能性の有無ですので、それほど気になりません。